

お元気ですか

三菱樹脂OB会だより第八号

第十三回OB会総会報告

平成十五年五月二十三日(金)
平塚工場 CSセンター三階

総会 出席者九七名
司会進行 岩田常任幹事

(一) 高橋会長挨拶

本日、大和田名誉会長は腰痛のため残念ながらご出席いただけませんが、宮部顧問、加藤様、岡様をはじめとする大先輩の方々多くの会員の方々のご出席を賜りありがとうございます。

本会も発足以来十三年になり、会員数も五百五十名近くになりましたことは誠に同慶の至りでございます。

しかしながら、この一年の間に十三名の方がお亡くなりになられたことは、痛惜のかぎりでありまして心からご冥福をお祈り申し上げます。

OB会の活動の基本として、会員の皆様方の親睦の増進と心身の活性化へのお役立ちに努めて参っております。

この基本方針に沿って、リクリエーション分科会活動、OB会だより、ホームページによる広報活動の充実に努めて参りましたが、これは偏に会員の皆様のご協力と幹事の方々のご努力たまものと感謝申し上げます。特に本部以外の支部、分会での活動が活発化したことは特筆すべきことで、今後一層の充実に努

ている次第です。

OB会の財政状況は、ここ数年の低金利の影響で、基金の運用利子で運営にあたるという本来の計画が崩れ、一般会計は赤字続きとなり、繰越金もほとんど底をついた状態になって参りました。

そのため、設立当初の財政状態の豊かな時にできた余剰金などを積み立てた第二基金四百万円の内三百万円を取り崩して一般会計に繰り入れ、当分の間をしのごうと考えております。この件については後ほど詳しくご説明いたしますが、どうかご承認を賜りたいと存じております。

次に、支部、分会の組織と名称を変更する件を上程したいと存じます。後ほどご説明いたしますが、主旨は本部、長浜以外の地域の会員数が増えて参りましたので、その活動をより活性化するために、その実情にあわせて、分会を支部に、また新たに分会を設置するということでございます。

これによってさらに各地域の活動が活発化することを期待している次第です。

三菱樹脂の経営状況については後ほど甲田工場長からご説明がありますが、この厳しい環境の中で経営を刷新され、復配を達成されました菅澤社長が六月の株主総会で退任され、神尾副社長が社長に就任されると伺っております。

神尾様には本総会にご招待いたしましたがあいにく重要会議と重なり、出席ができませんが祝電をいただいておりますので後ほどご披露させていただきます。

結びに、本総会にあたり三菱樹脂社並びに関係会社各位からご祝儀を頂戴したことをご報告し、各社に厚くお礼申し上げます。

(二) 会務報告 岩田常任幹事

(1) 物故会員報告。傘寿祝贈呈報告があり、増原様から代表してお礼のご挨拶。会員現勢報告。新入会員報告。

(2) 平成十四年度OB会決算報告。平成十四年度定期総会収支決算報告。OB会基金決算および予算報告。平成十五年度OB会予算説明。

(3) 小原会計監事から監査報告。

(4) 今年度一般会計の財政状況に鑑みて、第二基金四百万円の内三百万円を取り崩して一般会計に繰り入れることとする件。

(5) 役員改選の件。加藤敏雄氏、古川國男氏が退任。山口滋氏が分

会長就任、柴田清廣氏が幹事就任。

(6) 会則改訂の件。関西支部を長浜支部に、近畿分会を大阪支部に、東海地区を名古屋分会とする。

(7) 前記の決算、予算、役員改選、会則改訂議案について出席者全員異議無くご承認を得ました。

(8) 財政対策について。現下の金利状況だと第二基金は遠からず底をつくのは明らかで、幹事会では

年会費の徴収を現実的選択肢として検討を進めていることをご報告してご理解を得たいと思っております。

(三) 経営概況および工場概況説明 甲田平塚工場長

平成十五年三ヶ月実績売上一五五億円、経常利益二二一〇百万円、当期純利益△一九七八百万円、平成十六年三ヶ月連結業績予想(十五年三ヶ月実績) 売上一六〇〇億円(一五六二億円)、経常利益五七〇〇百万円(三二八五百万円)

三菱化学筑波から引き受けたコンパレーティングフィルム(ナイロンフィルム主体)が好調。アルセツト、ダイアミロンも好調。ペットボトルは調味料に特化して好調。ペットボトル用デラックスフィルムの損益がマイナスイナス。パイプ、設備機器不調。ポリカ好調。

平塚工場では、パイプ、プレートを分社化した。クーリングタワー組立を寒川から工場内に移した。EF継ぎ手を中国の無錫に移転開始した。厚生用地を売却した。平塚樹脂を清算した。コンピュータを活用し生分解性樹脂製ウォークマンの開発スピードを上げソニーから表彰された。TOC(制約の理論)により大阪ガス用パイプの在庫、リードタイムを改善し、またパーティションの生産を改善した。JIT(ジャストインタイム)の考えでアルセツトのレイアウトを見直した。

懇親会(クラブ湘濤一階)

出席者一〇三名

進行 加藤常任幹事

高橋会長の挨拶の後、岡秀明氏のご発声で乾杯し、宮部顧問から勲三等旭日中綬章受章のご挨拶がありました。その後懇談に移りま

した。中締は町田富美夫氏のご発声で「三菱樹脂社およびOB会万歳」を三唱し、十七時四五分お開きとなりました。

工場見学 参加者七四名

総会に先立って、ソニー製品の開発などに寄与した開発センターのCAE、アルセツト製造ライン、ステンレス製タンクのロボット加工を見学しました。



総会懇親会出席者

高橋義衛会長、木下英俊顧問、宮部義一顧問、相川武夫、青木貞巳、麻生昌則、安部彰、荒木秀浩、安藤明義、安藤忠雄、井伊國裕、石射祥光、石川治男、石井弘、石井実、石塚守男、伊藤敬輔、石橋正康、市村義雄、井東政蔵、岩崎俊二郎、岩田幸三、大庭忠利、



岡秀明、岡田五郎、小倉武司、小原真二、香川重雄、鹿島静哉、片山弘男、加藤進、金内保、金子昇、亀田実、木沢英雄、木原仁博、黒川亮、小宮繁伸、斎藤多計夫、栄谷暢恭、坂本堅一、佐藤昌二、佐藤誠、佐野弘毅、清水康次、塩澤敏行、島本進、白崎勝、高橋健二、高林健治、田中須賀男、辻輝彦、土屋倭章、豊田安鴻、中川実信、中村寿夫、錦文雄、西林公助、野崎紋寿、花田正一郎、瑞宏、原田浩次、広瀬勉、藤井正敬、古川國男、部谷宣之、増原雄甫、三原稔、宮武正浩、村田謙四郎、安田久雄、山上章三郎、山口一、山田守士、山根邦章、山本猛、山本博之、



入場者数一〇六一人、うれしい悲鳴を上げました。四日目は同じ県民ホールで川中美幸シヨールが開催されたこともあり、この日だけで四二五人の方が足を運んでくれました。この日は作品についての質問や、会社のOB会についての質問があったりで会場は修羅場の様相でした。



横浜神奈川県民ホール・ギャラリ―新メンバーを加えて活況でした。二月二四日から三月二日まで、第三回作品展が開催されました。今回は新会員が加わり、二五人の出品者が五九点の作品を展示しました。

第三回OB会 作品展

山谷章浩、吉井靖、渡部一蔵、渡邊良秋、渡辺芳秋、梶道信、佐伯清忠、柴田壽一、柴田弥蔵、富岡秀雄、野田和久、西島藤夫、森川栄寿、山本貞生、奥田公具、加藤敏雄、熊倉寛、町田富美夫、宮本二四彦、山口滋、岸川茂、合原精一、谷口厚生、桑村俤正、佐古田英男、松尾義光(敬称略)

五日目にはOB会歩こう会で三五人の会員と家族が来場され、ここでも作品のこと、会員の消息のことなどが話題になり大いに交流ができました。今回は、絵画部門では安曇野在住の小宮さんが初参加、写真部門では安藤さん、久保さん、永松さんが初参加、工芸部門では中川実信さんが初参加され奥様も絵画部門と一緒に参加されました。作品では中川さんの農家のミニチュア模型が来場者の興味を引き、またフォトサークルが撮影会の成果であるそれぞれの個性が表現されている作品を展示してくれました。(加藤進記)

歩こう会

関東地区第三二回歩こう会 横浜大棧橋見学と作品展鑑賞 平成十五年二月二七日(木) 参加者三五名

桜木町駅に集合。初参加の岡田五郎ご夫妻、花田正一郎さん、松林義明さん、宮武正浩さんなどの顔が見える。明治四四年開通の臨海鉄道の廃線跡を整備した「汽車道」を行くと、左手に高さ約一―二メートルの大観覧車と、「横浜ワールドポーターズ」が現われる。道なりに進むとショッパヤレストランに姿を変えた明治から大正にかけて建築された「赤レンガ倉庫」にでる。「開港の道・山下臨海線プロムナード」を途中で降りると、真正面に「大さん橋」が見える。「横浜・大さん橋」は、平成十四年に国際コンペでプランを

募り改築された。柱を使わないハニカム構造の棧橋で、入り口から奥まで木のデッキが続く。丘陵のような曲面で構成された木の床面を歩く足裏にアスファルトとは異なる感触がある。曲がった手すりに沿ってスロープを上がって行くと、右手にベイブリッジが見える。先端にある風よけ板の下で記念撮影。 十五時十五分「大さん橋」を後にし県民ホールへ。 会場で制作者の解説を直接聞きながら鑑賞する。途中で中川さんの作品「農家のミニチュアとトンボ」を参加者の皆さんにお土産としてお渡しする。 懇談会は中華街の「楼蘭」で中華料理を味わう。(吉井靖記) 関東地区 第三二回歩こう会 「寄席演芸を楽しむ」 平成十五年三月十八日(火) 国立演芸場 参加者十三名 十二時少し前演芸場に着くと、既に熟年グループ約五十名が居て狭いフロアーに人が溢れてい



る。会場はほぼ八分の入り。
前座…春風亭朝也「てんしき
(転失気)」
落語…三遊亭きん歌 新作落
語「中川家の人(田歌師匠宅の
内弟子時代)」
漫才…大空なんだ・かんた「民
謡と浪曲でお笑いを…」
落語…柳家喜多八「そば清兵
衛」
民謡…黒田幸子「民謡お国巡
り、ダンチヨネ節、木曾節、武
田節、ソーラン節等々」
落語…春風亭一朝「おしの釣
り」 仲入り
マジック…マジックジェミー
「金髪美人に目がくらみ…」
津軽三味線…太田家元九郎
「津軽弁の語と三味線でアリラ
ン、ジャンガラ節」
トリ…五街道雲助「禁酒番屋」



会場からの掛け声、客席との
かけあいの寄席ならではの雰
気で楽しい一時を過ごしました。
この後、歩いて十分ほどのピ
ル地下にある「えぞ会席」に移
りました。
(吉井靖記)

近畿分会第七回樹楽会
「明智越え」

平成十五年三月十七日(月)
参加者九名
参加者 奥田公具、岡本益弘、
熊倉寛、内藤次生、中谷昌弘、
平井穰、福井久、町田富美夫、
山口陸雄
コース 京都駅〜亀岡〜明智
越え〜洛西水尾〜保津峡駅



近く卒寿を迎えられる町田翁
の先導で、保津川下りの舟を見
やりつつ、ハイキングコースに
向かう。
保津から嵯峨へ越える峰の道
を明智越えという。
光秀が「ときは今 天が下知
る 五月哉」と心境を詠んだ戦
勝祈願の愛宕山への道をたどり、
本貫亀山城から本能寺に向かっ
た道を踏みしめる。
途中に清和天皇を祀つてある
円丘「峰の堂」がある。これを
「むねんのどう」と読む。光秀
の無念の心中を思い遣る人々は
いつとはなしに無念堂と呼んだ
という。

ゴルフ同好会

第十九回関東地区コンペ

平成十五年四月二十四日(木)
湘南カントリークラブ
参加十九名

天気予報は雨でしたが、当日
は日が射すまでに回復しました。
距離が長く砲台グリーンの上、強
風に苦しめられて、ローハンデ
イ者が上位を占め、他の者は不
本意な成績に終始すると予想さ
れていました。



しかし、若さと元気一杯の初
出場組が大活躍し、グロス・ネ
ットともに三浦さん、長崎さん

が制覇しました。
主な入賞者と成績は次のとお
りです。(以下敬称略)

- 優勝 三浦修
- 準優勝 長崎英太郎
- 第三位 井伊國裕
- 第四位 山本猛
- 第三、四位は同ネットなるも
年齢順
- ニアピン賞小倉武司、安田久
雄、三浦修

特別賞(グランドシニヤのベ
ストネットスコア) 柴田栄一
次回幹事 三浦修、長崎英太郎
(井伊國裕記)

第二十回長浜地区コンペ

平成十五年五月九日(金)
彦根カントリークラブ
参加者 二十四名

初参加の柴田壽一氏、後藤健
二氏を含む二四名の方々の参加
でコンペを開催しました。



前日の冷たい雨天から一転し
て無風快晴の絶好のゴルフ日和
となり、各々健闘の結果、加藤
勲氏の優勝で無事にプレーを終
りました。

場所をDS社「汲月」へ移し
て、前年度の会計報告、役員改
選に引き続いて懇親会並びに表
彰式を行ない、和やかな雰囲気
の中でお開きとなりました。
主な入賞者と成績は次のとお
りです。(以下敬称略)

- 優勝 加藤勲
- 準優勝 武藤幹男
- 第三位 村上孝司
- B G 笹原榮之助(八六)

第三回近畿地区ゴルフ会

平成十五年四月十七日(土)
場所サングレートゴルフクラブ
参加者 宇塚正、岡本益弘、熊
倉寛、小森喜成、平井穰、南野
彰宏、山本功、山口滋



絶好の好天の下、小森・南野
両君を迎え新しいコースで覇を
競った結果、平井君が初優勝を
遂げた。
ベスグロは宇塚君(八三)
当地区も秋には三組エントリ
ーできるようになる見込みであ
り、今後益々の発展を期待して
います。

優勝 平井穰
準優勝 岡本益弘
第三位 宇塚正

テニス同好会

(山口滋記)

関東地区春季大会

平成十五年四月十八日(金) 於三菱化学狛江コート 参加者 井東、磯田、岡田、小倉、金子、井関(守)、高橋義、土川、鳥居、中川、中村、西林、原田、宮下、安田、井伊
井東政蔵さん(八六才)を筆頭に十六人が集い、午前十時、大会が開始されました。



試合は四ゲーム先取・ジュース一回のみのノンアドバンテージ方式で行なわれ、往年の名選手、最近腕を上げた名選手が毎試合パートナーを変えながら、ほとんどのメンバーが六、七試合に出場し、トータル二十二試合をこなしました。
ハイレベルな対戦、宿命の対戦、このペアには負けたくない者同士の対戦など好カードが多

く、また何故かしらパートナーにより実力が大きく上下する人など後で懇親会の話題となるゲームもあり、大会は大いに盛り上がりました。
打ち上げ会では、話題は尽きず、時間の経つのも忘れまじが十六時三十分閉会しました。(井伊國裕記)

フォトサークル2000

「第五回撮影会」

平成十五年四月二十四日(木) 撮影場所 新宿御苑
参加者 永松啓至、橋本志真彦、広江昭道、山崎勲、柳沢知男、青山新太郎



新宿御苑は四季を通じて豊富な被写体があり、行けば何かしら収穫がある所です。苑内は桜からツツジの季節に移っており、色とりどりのツツジが見事に咲き競っていました。雨の予報だったので撮影中に降りだすのではないかと心配しましたが、最後まで降らず、かえって曇天の

柔らかい光線が花の描写には絶好で、一同大張り切りでした。閉園時間となり、苑外には赤提灯がともっています。一行は第二ラウンドに向かいました。写真談義に花が咲き、次回は小江戸川越の古い街並みなどを対象とすることにして散会しました。(青山新太郎記)

趣味、健康、ライフワーク

白崎さんのオープンガーデン

開催日 五月十一日(日) 母の日 十時~十六時
近くのひとつと旧交を温めることができればと、オープンガーデンを企画しました。



来客ゼロではの家の予想に反し、オープンと同時に次々と訪問客があり、一日中お相手していました。来訪者記録では四九名でした。OB会からの来場は案内から日が無かったためか、ありませんでした。
町内のコミュニケーション増進のために、二軒で同時開催し

たもので、来ていただいた方に、手作りの庭を喜んでもらえ大変うれしく思いました。
オープンガーデンはイギリスでは古くから行われている慣習だそうですが、日本でも近年盛んになってきています。緑の中、話が弾みすばらしい生活文化だと思えます。(白崎勝記)

OB会事務局から

▽会員の状況

全会員数 五五〇名 本部三〇三名 長浜一六六名 大阪三一名 名古屋二〇名 九州三〇名(平成十五年五月二三日現在)

▽訃報

杉田為武士殿 平成十四年十二月十三日逝去
松尾甫殿 平成十五年一月十一日逝去
大熊氏治殿 平成十五年一月二十日逝去
川底正弘殿 平成十五年一月二十八日逝去
秋野紀之殿 平成十五年三月十四日逝去
尾山利之殿 平成十五年四月十四日逝去
田中豊殿 平成十五年四月十五日逝去

▽役員改選

近畿分会が大阪支部になり、加藤敏雄氏に代わり山口滋氏が支部長に就任されました。
関西支部が長浜支部となり、古川國男氏に代わり柴田清廣氏が幹事に就任されました。
東海地区が名古屋分会となり、玉木正良氏に代わり岸川茂氏が分会長に就任されました。

発行者：三菱樹脂OB会事務局 〒110-0016 東京都台東区台東 4-19-9 山口ビル 7-2F
編集委員 市村義雄 TEL/FAX:0463-55-7235 e-mail ichiyo-ei@k2.dion.ne.jp
加藤進 TEL/FAX:03-3709-3610 e-mail ssmkato@oregano.ocn.ne.jp
黒川亮 TEL/FAX:047-447-2881 e-mail heichuan@m19.alpha-net.ne.jp
原田浩次 TEL/FAX 045-621-3355 e-mail kh8893@mb.infoweb.ne.jp
森川栄寿 TEL/FAX:0749-63-5307 e-mail e-morika@gaea.ocn.ne.jp
吉井靖 TEL/FAX:045-811-9390 e-mail yoshiiya@skyblue.ocn.ne.jp

OB会ホームページのアドレス <http://www.mrc.mpi-mrc.co.jp/obkai/>